

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	海洋地球・環境分野の研究開発の推進		事業開始年度	昭和46年度		作成責任者
担当部局庁	研究開発局		担当課室	海洋地球課		海洋地球課長 堀内 義規
会計区分	一般会計		上位政策	環境・海洋分野の研究開発の重点的推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計 画、通知等	海洋基本計画(平成20年3月 閣議決定)等		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	海洋科学技術に関する各国の、研究成果、活動の情報交換、共同研究の実施計画の調整や共同研究課題について討議を行うため、会合を開催したり国際会議へ出席したりする。また、文部科学省における地球・環境科学技術分野の研究開発を効果的かつ円滑に推進するために国内推進会議を開催する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	海洋科学技術に関する国際協力活動の場である二国間協力協定の下での4つの専門部会及び日露科学技術協定に基づく合同会合を開催し、研究成果等の情報交換、共同研究課題の検討等を行った。また、太平洋を始めとする海洋に関する総合的な観測研究について他国との間で討議を行う国際会議への出席及び国内推進会議を開催した。更に、地球環境問題等に関する科学的知見の充実に資するため、地球環境科学技術を推進する観点から地球環境問題に関する国際会議に参加するほか、関係省庁や有識者による国内推進会議を開催した。					
実施状況	海洋科学技術に関する共同研究課題の検討等を行っている。 海洋に関する総合的な観測研究について他国との協議を行う国際会議及び国内推進会議等を行っている。 地球環境科学技術を推進する観点から地球環境問題に関する国際会議への参加や国内推進会議を開催している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	13	13	11	22	0
	執行額	14	13	11		
	執行率	107.7%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	14	13	11		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	海洋科学技術及び地球環境科学技術を推進する国際会議への参加費用や、国内会議開催経費、また会議や打合せ等に必要とする資料作成のための外国旅費・庁費・諸謝金・職員旅費・委員等旅費を事務経費として、財政法・会計法等に則り文部科学省において適切に執行支出している。				
	見直しの 余地	・海洋科学技術及び地球環境科学技術は着実な推進を図っていくために、有限な予算を最大限利用するとともに、効果的推進のため、引き続き、財政法、会計法等に則り経費の効果的・効率的執行に努める。				
予算 チーム 監視の 効率化	1. 事業評価の観点:この事業は、海洋分野の科学技術協力の推進等に必要な職員の派遣等を行う長期継続事業である。 2. 所見:20年以上続く長期継続事業であり、現行のままの一つの事業として存続しなければならない特段の必要性が認められないことから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、特に外国関係旅費に係る積算を見直し、予算を縮減すべきである。					
補記						

A : 文部科学省  
11百万円

海洋に関する総合的な観測研究及び  
地球環境問題等についての国際会  
議等への出席及び国内推進会議の  
開催

諸謝金	0.2百万円
職員旅費	0.1百万円
外国旅費	9.5百万円
委員等旅費	0.1百万円
庁費	1.3百万円

**資金の流れ**  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万円)

A:文部科学省					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外国旅費	政府間海洋学委員会執行理事会及び総会等 海洋に関する国際会議また、地球観測に關する 政府間会合等地球環境問題に関する国際会 議出席旅費	9.5			
雑役務費	政府間海洋学委員会執行理事会及び総会等 海洋に関する国際会議出席経費	1.3			
諸謝金	会議出席に関する経費	0.2			
委員等旅費	会議出席に関する経費	0.1			
職員旅費	海洋科学技術に関する研究成果等の情報交 換、共同研究課題の検討及び地球環境問題に 関する国際会議にかかる経費	0.1			
計		11.2	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。使途  
 と費目の双方で  
 実情が分かるよ  
 うに記載)